



英知
高潔
氣魄

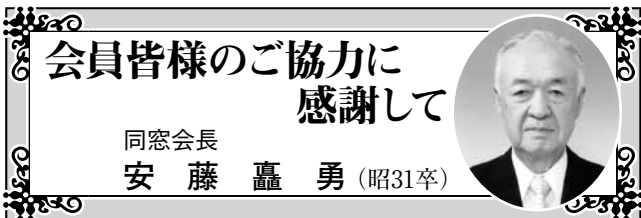


長高同定會報

第21号



至誠
剛健
公正



平成27年新春を迎え、長生高校同窓会会員の皆様には、益々ご健勝で、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃皆様方には、それぞれの同窓会活動を通じ、お互いの交流親睦を深め、同窓生の絆を一段と強められると共に、母校に格別なご指導、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

不肖私、昨年8月の定期総会にて、同窓会長として四期目の再選をいただきました。

これまで温かくお支えくださった役員の皆様を始め、会員各位、母校の関係者の皆様に、心より感謝申し上げますと共に、微力ですが引き続き精一杯の努力を致す所存ですので、宜しく願い申し上げます。

今日までの同窓会活動を振り返り、常に感じますのは、創立百二十有余年の母校の輝かしい歴史と伝統、卒業生実に三万名超、現在も多くの同窓生が、地域社会から全国そして世界へと、各分野で多士済済の活躍をされる実力と層の厚さであります。

今私達は、この事を母校の誇りとしながら、私達を育んだ母校に感謝し、次代を託す後輩から、多数の優秀な人材を育成する為、力強い支援が肝要であります。

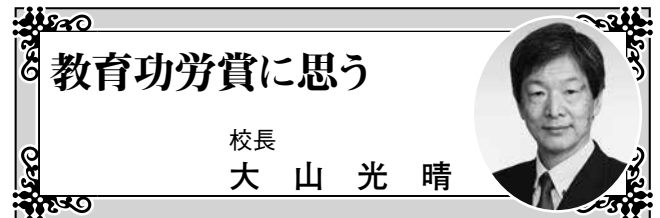
我が長生高校は、こうした同窓生の皆様の母校に寄せる愛情と期待に応えて、職員生徒の一体となった、たゆまぬ努力により目覚ましい進化を遂げ、名実共に県下屈指の名門校として、その地位を高めて居りますことは、ご高承の通りであります。

同窓会の母校に対する財政的支援としての、教育振興基金のご寄付の募金につきましては、皆様の多大なご協賛により順調に進展致し、その目的に沿って有効に活用されて居ります。

一方母校生徒との心の絆を深め、生徒に深い学識と広い視野を養う天夢塾の講義も、平成23年開設以来、本年まで全日制7回、定時制3回、計10回を数え、延べ50名を越える幅広い年代の多彩な同窓生の皆様の熱心なご講義により、生徒に感銘を与えて居り、有力な事業として定着して参りました。

この他、昨年8月に会員の皆様のコミュニケーション強化の為、同窓会ホームページを立ち上げましたので、ぜひご活用いただく様お願い致します。

長生高校同窓会は、今後共、会員の皆様がより親密に、楽しく交流し、更に有意義な活動が出来る様、母校との連携をもとに努めて参りますので、何卒変わらぬご指導、ご支援を賜ります様お願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



今年度、長生高等学校は千葉県教育功労者表彰(団体の部)を受賞いたしましたので、同窓生の皆様方にご報告申し上げます。受賞の理由は次のとおりです。「明治21年創立。以来、『文武両道』『大器晩成』を柱とした教育を目指し、多くの人材を輩出してきた。平成16年度に、県内初の進学指導重点校に指定された。平成22年度には、文部科学省から『スーパーサイエンスハイスクール』の指定を受け、国内外の学校及び研究機関等と連携して、新しい理数教育の在り方の研究を進めるとともに、地域の学校への普及に尽力している。さらに、平成24・25年度には『学習指導実践研究協力校(外国語)』の指定を受け、グローバル人材の育成に取り組み、大きな成果を上げた。これらの教育実践は高く評価されており、本県教育の進展に寄与した功績は大である。」

本校の教育活動が、上記のように県教育委員会にご理解いただき、教育功労団体賞という栄誉をいただくことができましたのは、なによりも同窓生の皆様方の物心両面にわたるご協力・ご支援の賜です。例をあげると紙面が足りなくなりますが、今年度は同窓会のご支援で社会科研究室に冷房設備を整えることができましたし、今年海外(北米)へ出かけた生徒への援助金を頂いております。また、今年も全日制・定時制の天夢塾に多くの同窓生にご参加いただき、後輩に貴重なご経験を語っていただくことができました。

皆様方のお力添えで、この一年、在校生たちが伸び伸びと育っていることを、心より感謝申し上げますと共に、このたびの表彰について、皆様に重ねて御礼を申し上げます。今年度も長高生諸君は多方面で大活躍をしてくれております。剣道部の関東大会出場やソフトテニス部の活躍もありましたし、陸上部では二井君が伝統の八種競技でインターハイに出場を果たしました。そして定時制2年の小野寺さんが定通全国大会に幅跳びで出場して、最後の見事な跳躍によって、全国2位という快挙を達成してくれました。また、写真部は全国総合文化祭茨城大会や関東大会に出場し、理数関係では千葉大学主催の数理科学コンテストや高校生課題研究発表会で最優秀賞や優秀賞を受賞するなどの成果を挙げております。

この後も皆様方のお力を得て、生徒・教員ともに一所懸命に学習活動・教育活動に励んで参ります。どうぞ引き続きのご指導ご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

学校だより 全日制

教頭
堤 浩一



同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対して物心両面のご協力とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

正門を入りますと、右手に重厚な職員玄関の車寄せ、正面に風雨に耐えてきた体育館、左手に武道場が見えます。この車寄せの前に、昭和63年の創立100周年記念の長生中学校と長生高校の校歌が刻まれた石碑があります。その石碑の裏側には、「英知」・「高潔」・「気魄」と校訓が刻まれています。また、体育館の前には、千葉天夢先生と並んで、平成10年の創立110周年記念の「大器晩成」の石碑があります。木造校舎当時の講堂に掲げられていた「大器晩成」の額を復元したと添えられています。いずれも長生高校の長い歴史と伝統を感じずにはいられません。現役の長高生にとっても、身の引き締まるパワースポットです。

さて、本校全日制は、平成16年度に県教育委員会より進学指導重点校に指定され、平成17年度に二学期制と進学型単位制を導入し、多くの選択科目、少人数授業や習熟度別授業を展開しています。長高生は月曜から金曜まで毎日45分7限の授業を受け、朝のホームルーム前には朝読書や朝自習、希望者は早朝や放課後の課外授業を受ける等、多彩な学習活動に臨んでいます。中には、授業内容が多くしかも進みが速い、レポートが多い、放課後の課外授業に出たいけれども部活動にも出たいと、悩みも多々あると聞きますが、人生において輝きを放つ高校生活の現在を、そして未来に向かい頑張っていると感じます。

昨春は、京都大学等の難関大学を含め国公立大学現役合格者は89名を数え、有名私立大学にも多数合格しました。

部活動では、剣道部、陸上競技部、写真部、サイエンス部等、多数の部活動が、関東大会や全国大会に出場し、ソフトテニス部は県3位と健闘し、校内に活気をもたらしています。

また、文部科学省に指定されているSSH（スーパーサイエンスハイスクール）は、生徒の活躍で、全国に長生高校の名を馳せています。指定最後の5年目となりましたが、平成27年度からの5年間についても第2期SSHの指定をいただき、グローバル社会で活躍する人材を数多く育ててまいりたいと考えております。

今後も本校は、東上総地域の憧れの高校であるよう、教職員一同、その使命を果たすべく努力してまいりますので、同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

学校だより 定時制

副校長
名取 康雄



同窓会会員の皆様方におかれましては、定時制教育に対して深い御理解と御支援を賜り、ありがとうございます。昨年4月に本校に27年ぶりに戻ってまいりました名取と申します。よろしくようお願い申し上げます。

今年は、1年次生26名、2年次生24名、3年次生21名、4年次生23名の合計94名でスタートしました。

少子化の影響から志願数も減少傾向にあります。来年度は夷隅地区にある高校3校の統合の影響が予想されますので志願動向も大きく変化すると思われます。

卒業予定者は、3年生で卒業する三修生を含めて27名を予定しています。9名が短大や専門学校に進学予定で、9名が就職を決定しています。残りの生徒はそれぞれの進路を真剣に考えているところです。

今定時制に在籍している生徒の大部分は、中学校時代に不登校等を体験しています。対人関係の構築が苦手な生徒が多く、本校に自分の居場所を見つけることが第一になっています。自分に自信を持ち、社会的な適応力・学力を身につけさせて、送り出すことが定時制の社会的な使命だと考えております。

障がいのある生徒も在籍しており、他人を暖かく見守る姿勢や障がいのあるなしにかかわらず共生していく社会に対応できるような教育を行っております。

昨年度来おこなってきた外部機関（中核地域生活支援センター、ちば南東部地域若者サポートステーション、茂原商工会議所）との連携協力は順調に進んでおり、「就労のための教育プログラム」や「就業体験」が行われました。

また、外部講師による数学・国語についての補習の実施や就職試験のための補習なども実施しております。就職に対する生徒の姿勢も改善されつつあり、生徒の進路実現に向けてのサポートは確実に強化されています。

部活動では定通総合体育大会の県大会において、陸上女子の小野寺さんが優勝、軟式テニスの部で1年瀧澤君・土屋君組2位、4年齋藤さん・1年片岡さん組優勝、3年雨谷さん・徳山さん組3位の成績を収め、全国大会に進みました。全国大会において小野寺さんは走り幅跳び2位、砲丸投げ5位の成績を収めました。軟式テニスの3組は、全て2回戦敗退でした。

同窓会の皆様の御協力により、1月8日には天夢塾が行われ、社会で活躍されている先輩の体験を伺い、生徒たちの学校生活への刺激となりました。

今後も生徒の自己実現をかなえる定時制を目指して参りますので、御協力をお願い申し上げます。



中村正俊氏 (昭41)



東京長高会



浅野玄航氏 (昭41)



夷隅梨葉会



千葉県警察梨葉会



大網白里支部



京葉梨葉会



長生支部



昭和47年卒同期会



昭和48年卒同期会

支部短信

東京長高会

会員数：300名 設立：昭35年

役員紹介

顧問 石川 正徳(昭31) 監査役 石井 美行(昭31)
会長 今関 敏弘(昭36) 副会長 小倉 弘安(昭39)

■平成26年度活動報告

- 第49回総会・講演会・及び懇親会(6月13日)
品川プリンスホテルにおいて開催。講師中村正俊様
(元JFEスチール役員・現GSS corporation代表)
演題「日本はグローバル化に対応できるか」
- 幹事会の開催(3月7日・8月22日)
- 長高倶楽部の開催(偶数月の第1月曜日)自由参加 品川
プリンスホテル「ななかまど」にて開催。
- 長生高校同窓会ゴルフ大会(12月10日)於長南CC 他支
部ゴルフ会と共同開催。参加人数32名。
- 平成27年度も今年同様の行事を予定しています。
- 連絡先 小倉弘安 ☎03(3589)2180

千葉県庁梨葉会

会員数：252名

役員

会長 中岡 靖(49年卒) 健康福祉部
副会長 麻生 恵(49年卒) 農林水産部
〃 石野 利明(49年卒) 農林水産部
〃 加藤岡 正(51年卒) 農林水産部
〃 板倉 正典(51年卒) 総合企画部
監事 杉浦 康一(49年卒) 水道局財務課
〃 大野由記子(50年卒) 安房保健所
幹事長 横山 正博(53年卒) 行政改革推進課
☎043-223-2044

今年度の活動

総会 平成26年9月3日 プラザ菜の花にて
(議題) 平成25年度収支決算報告 役員改選等

京葉梨葉会

設立年 昭和35年頃 昭和59年第1回同窓会開催
会員数 例年総会出席者数90有余名
役員 特別顧問 最首 良雄(27年卒)
神馬 勝子(33年卒)
会長 日下 忠文(32年卒)
幹事長 今関 憲章(41年卒)
事務局長 鹿間 善弘(47年卒)
連絡先 〒260-0041
千葉市中央区東千葉2-6-1-435
京葉梨葉会事務局 鹿間義弘
☎090-8310-5831 FAX 043-256-2815
E-mail keiyo@chosei-dousokai.jp
ホームページ http://www.keiyo-riyokai.com/

活動状況

昨年7月18日に、27年度総会を多数の出席者を得て無事行
いました。講演会では、(株)ウエザーニューズ副社長、戸村
孝氏(S48年卒)に、最新の気象ビジネスに関する興味深い
お話を伺いました。現在平成27年度会総会に向け準備中であ
り、詳細が決まり次第、葉書、HP等でお知らせします。
又、部会活動において、昨年11月16日にハイキング部「第

5回山行：神馬山～高尾山縦走」を実施。18km余りを無事
踏破しました。次回第6回は6月頃実施予定です。興味のある
方は、ご連絡ください。前回取りやめとなりました、「京
葉梨葉会ゴルフコンペ」も次回開催予定しておりますので、
併せて参加お待ちしております。

千葉県警察梨葉会

- 1 支部長 秋葉 英郎(昭和49年卒)
- 2 連絡先 田邊 健一(平成8年卒)
千葉県警察本管内 電話 043-221-0110 内線 4062
- 3 活動
平成27年1月24日、千葉市美浜区内ヴェルシオーネ若潮
にて28人の出席者を得て懇親会を開催した。
お忙しい中、安藤同窓会長、大山校長をはじめ、当会
OBのご出席をいただき、楽しく歓談のうえ最後は校歌で
締めるなど、融和団結を深めることができた。

千葉市役所梨葉会

会員数：89名 設立：昭和61年

役員

会長 須藤 正行(昭49卒)
副会長 矢部 文夫(昭50卒) 御園 一郎(昭52卒)
幹事長 石川 明洋(昭52卒)
☎043(216)5011(千葉県後期高齢者医療広域連合)

平成26年度総会

平成26年5月28日 千葉スカイウィンドウズ海燕亭

平成27年新年会

平成27年1月28日 千葉スカイウィンドウズ東天紅
毎年6月頃に総会、1月に新年会を開催

大網白里支部

会員数：300名 設立：昭和62年

1. 支部役員
支部長 今井 敏夫 昭35
副支部長 四之宮由巳 昭29 四之宮英明 昭40
今井登志男 昭42
会計 足立 成一 昭42 今井 洋一 昭53
事務局長 富塚 修 昭40 ☎0475-72-9389
1. 平成26年度総会
○10月26日 大網白里市 エンジ荘
○ご来賓に、安藤同窓会長、大山校長、鈴木茂原梨葉会
長、篠崎同窓会事務局長、石野同次長をお迎えし、総
勢39名参加の下、盛大に開催。
平成25年度事業報告等及びより充実した支部活動展開
のため支部規約改正等をご承認頂き閉会。引き続き、
講演会、懇親会を開催した。
1. 平成27年度総会
○平成27年10月第4日曜日に開催予定。
○今年も多く同窓生の参加をお待ちしております。

茂原梨葉会

役員

会長 鈴木 勝博(昭36)
副会長 元吉 昭夫(昭37)
幹事長 齊藤 晟(昭37)
副幹事長 内山正七郎(昭40) 松本 雅明(昭43)
会計・事務局・連絡先 白井 伸夫(昭41)
☎0475-22-3762

事務局 高中二三夫(昭43)
 会計監査 常泉 博志(昭37) 村上 義則(昭45)
 幹 事 原 佳子(昭33) 岩田 節子(昭34)
 〃 中村 勲(昭38) 松本 哲也(昭40)
 〃 中村 勉(昭42) 足立 俊夫(昭46)
 〃 荒 徹(昭58) 仲村聡一郎(平13)

相談役 10名
 平成26年度総会

平成26年度総会は、6月21日(土)に大和屋旅館において、ご来賓に県議会議員 横堀喜一郎様・茂原市長 田中豊彦様・同窓会長 安藤轟勇様・大網白里支部長 今井敏夫様・学校長 大山光晴様・同教頭 堤浩一様・同窓会事務局長 篠崎文彦様をお迎えして開催されました。総会では次第に添い25年度会務報告・決算報告・監査報告・26年度事業計画と議事報告があり、いずれも承認を戴き、閉会となりました。その後懇親会へ移行し、祝宴は大いに盛り上がり、本会並びに長生高校の隆盛を願い閉会いたしました。

千葉梨葉会

会員数：150名 設立：昭和36年

会 長 金澤 宏(昭48)
 副 会 長 吉野 雅彦(昭52) 大野 治充(昭52)
 今関 正次(昭54)

事務局長 日野 玲子(昭51) ☎043-261-5321(蘇我小)
 本会の会員資格は、千葉市内の教育機関に勤務、又は勤務した教職員です。本年総会は、20代、30代の方が多く出席し、にぎやかに行われました。

平成26年度総会

平成26年11月21日
 千葉スカイウィンドウズ東天紅

茂原市役所梨葉会

会員数：約200名 設立：平成21年

茂原市役所梨葉会は、地元茂原市役所に在籍している200余名の職員で構成されています。

地元であるため、長生高校後輩諸君の活躍が学校に横断幕として掲示されるのを目にするたびに誇らしい気持ちになるとともに、勉強や部活動に悪戦苦闘していた高校生時代を懐かしく思い出します。

さて、茂原市役所では、同窓職員が各分野で連携を図りながら、市民の安全安心と公共の福祉の向上に奔走しています。特に、一昨年(2014年)の台風26号により、甚大な被害を受けましたが、緊急対策を実施するとともに、中長期的な対策を実施し、市長を中心に一丸となって災害のない街づくりに取り組んでおります。

又、昨今地方では、「消滅可能性が高い自治体」が公表されるなど、人口減少問題が喫緊の課題となっています。茂原市においても人口減少問題は、大きな課題であります。一昨年開通しました圏央道(首都圏中央連絡自動車道)により交通アクセスが飛躍的に向上しましたので、この優位性を生かすべく、いちはる工業団地の早期完成を推し進め、産業の振興を図るとともに、各種の子ども子育て支援事業を実施し、人口減少問題に取り組んでおります。

長生高校同窓生や在校生の皆さんが、持てる力を思う存分発揮し、日本の中核や海外に出て活躍されることは、誇らしく、頼もしい限りです。その一方で、地方自治に携わる者として、皆様には、地域に残り、あるいは戻ってきて頂き、地域を支えていただきたいという思いもあります。

これからも、母校長生高校の地元「茂原市役所梨葉会」として会員一人ひとりが日々研鑽し、地域の発展を担っていき

たいと考えております。

最後になりますが、長生高校同窓生及び在校生の皆様の益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

市原支部

会員数：51名 設立：平成22年

- 1、会長 花澤良三(S42年卒業)
 市原市ちはら台東2-11-13 ☎0436-52-3358
- 2、総会の日時 平成26年11月15日(土)
 場所 「千葉市勤労市民プラザ」
 「はなの舞蘇我駅西口店」
- 3、総会の報告

当日は14時半に開始しました。来賓として同窓会長の安藤轟勇様のご臨席を頂き、ご祝辞を賜りました。進行は事務局長の愛敬春雄さん(S46年卒業)が行い、活動報告と会計報告、次年度の活動方針が承認されました。

今年もJR蘇我駅から徒歩5分の千葉市勤労会館市民プラザを会場に設定しました。当支部の方針は「学校に対する報恩の気持ち」と、「共に学んだ学友と交流を深める事」が両輪だと考えています。今回はこの方針に則して活動して行く事を改めて確認しました。

第1部は母校の現状を把握する為、堤浩一教頭から現役学生の活躍ぶりを紹介してもらいました。4月から大山光晴校長を迎え、時代の先端を行くスーパーサイエンススクールとしての活動にますます磨きがかかり、卒業生も大いに勇気をもらいました。同時に何とかこの活躍をサポートして行きたいと改めて認識しました。

続いて、S42年卒業の千葉順一氏に「自然再生エネルギーの可能性」の講演をしてもらいました。千葉氏はマサチューセッツ工科大学に留学経験もあり、三井造船で海外勤務も長く、現在母校が目指すグローバル活動の先駆者です。大変貴重な体験の講演を頂きました。

2部の懇親会は場所を蘇我駅西口の居酒屋「はなの舞」に移して行いました。乾杯の音頭は東京支部の今関敏弘会長にして頂きました。今回もS42年とS43年の団塊の世代の出席者が多い状況でした。参加者は22名でした。今年は42年卒業の酒井総子さんと43年卒業の佐瀬静江さんの2人の女性が参加してくれて、大いに盛り上がりました。また会費の中から些少ですが、今年も天夢塾に寄付させて頂きました。今期の目標として、ホームページを長生高校同窓会のホームページと連動させて充実させていく事と、会員の拡大を目標とします。

夷隅梨葉会

会員数：261名 設立：平成23年

平成26年度総会は、11月30日(日)勝浦ホテル三日月にて、来賓として同窓会本部安藤轟勇会長、長生高校大山光晴校長のご臨席を頂き、会員50名出席のもと開催されました。総会終了後、秋の叙勲で会員の中村勇さん(昭37卒)が瑞宝双光章を授章されたことに対し、会より花束をお贈りして功績を称えました。記念講演は宗教活動の傍ら教誨師としても社会貢献されている会員の浅野玄航さん(昭41卒)に教誨活動について講話を頂きました。千葉刑務所の受刑者の殆どは初犯で、90%が人を殺めてしまった人々とのこと。刑期も無期もしくは10年以上と長く、そのような彼らに父の如く教え、母の如く諭す。責めず、許さず、その先は反省であり懺悔と促します。命の大切さ、親への感謝も併せて説き、また、他の宗教家の方々との交流から沢山の学びもあると語られました。母校の現況について、大山校長から昨年7月にNHKの朝のニュースで取り上げられた、オールイングリッシュ授業の

ビデオ放映を交え、その中に出てくる女生徒のエピソードも紹介しながら、生徒たちの活躍ぶりを披露頂きました。和気藹々と時間は過ぎ、締めめに市原一明さん(昭59卒)のリードで校歌を熱唱し幕を閉じました。皆さんありがとうございました。なお本会では会員を募集中です。

事務局長 小守 千明(昭和43卒)記(☎0470-63-1495)

長生支部

会員数：450名 設立：平成25年

一昨年の11月に長生支部設立総会を開催し、早1年が経過しました。今年度も11月に平成26年度総会を開催しました。今回は、総会の後に講演会を計画し、いすみ市在住の時田正樹(昭和45年卒・元長生高校校長)さんに講師をお願いしました。時田さんの軽妙な語り口に時間の経過も忘れてしまいました。

その後懇親会へと進み、最後に松崎(35年卒)・土屋(36年卒)両先輩の指揮のもと校歌を斉唱し、来年の再会を約束して散会しました。

いまだ支部設立から日が浅く、支部としてどのように活動していくべきか暗中模索の状態ではありますが、まずは会員同士の親睦を深めるべく、努力しているところであります。会員各位のご協力と、同窓会本部、他支部のご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

同期会短信

昭和37年卒 古希を迎えての同窓会

幹事長 金坂 瑞穂

平成26年4月12日、プラザハイアン茂原にて、131名の参加で同窓会を開催しました。前回は東日本大震災の年でしたので、3年経つのは本当に早いものです。その間、大切な仲間が何人か逝きました。残念でなりません。

さて、内容ですが、最初に写真について。前回は業者に依頼し、136名の素晴らしい合同写真が撮れました。今回は幹事会で自前ということになり、安崎(A組)・大屋(C組)君の活躍で、2組毎(AB/CD/EF/GH)に撮影。そして女性全員(41名)での撮影も。これは喜ばれました。出来映えも最高で、余韻を楽しみました。続いては、古希を迎えても社会的にいろいろ活躍している大勢の仲間についてです。当日はその中の3名を紹介。腰川日出夫(C組)君は、地元茂原市で市会議員を連続4期、現在は32代目の議長として活躍。剣道7段というスポーツマンでもあり、体育関係の要職に就いてその発展に尽力しています。鈴木義信(G組)君は、日本野球連盟常任理事及び全日本アマチュア野球連盟副会長として活躍。先般(7月29日)都市対抗野球決勝戦の天覧試合で優しい解説をしていました。テレビでご覧になった方もいると思います。吉野毅(H組)君は、芸術家であり、彫刻の分野で数々の賞を受賞。中でも第96回二科展に出品した作品は2011年度の芸術院賞を受賞。現在は二科会会員で、多摩美術大学客員教授として活躍。こうした素晴らしい仲間がいることは誇りでもあり嬉しい限りです。益々の活躍を祈るばかりです。

次回同窓会は、喜寿を迎える6年後の2020年と幹事会で決定。しかし、それでは長すぎるという意見があり、次回は3年後の2017年に決まりました。また、収支決算に若干の余裕が出て、長生高校同窓会に10万円を寄付することができました。

130名を超える仲間が一堂に集い、大いに語り、絆を

深めることができたこと。みんなの素敵な笑顔。校歌斉唱。あっという間の2時間でしたが、「やって良かった」と思わず頬がゆるみました。また、解散後に大勢の皆さんからお礼の葉書や電話が各幹事に寄せられました。次の3年後の開催に向け、改めて頑張らなければと思った次第です。

37年卒の皆さん、次回もとびっきりの笑顔で再会できるように。そして母校の益々の発展を祈念申し上げ、同窓会の報告と致します。

一時の 夢にひたりて 古希祝ふ

(幹事)

A組：金坂瑞穂・鐵 和子 B組：牧野春雄・白井敏子
C組：青柳征三・鈴木日出男 D組：渡辺幸男・浅野みのり
E組：井下田耀子・竹内恵子 F組：中村憲二・笠原好子
G組：泉 吉徳・若林恵子 H組：藍郷黎治郎・石川健一

昭和47年卒業生同期会報告

野口 雅一

平成26年5月18日、茂原プラザハイアンに、生物の小嶋健一先生、世界史の岡崎巖先生、英語の村杉仁先生、体育の小出義雄先生、国語の嶋田行雄先生をお迎えし、141名の卒業生が集い、同期会が開催されました。受付では、過去の「長高時報」や「梨葉」に掲載された恩師の記事や私達の在学中の手記などを集めた96ページに及ぶ冊子が、参加者全員に同期会の記念品としてプレゼントされました。開宴までの待ち時間に各自熱心に読み始め、内容の充実度は大好評でした。同期会会長の千葉桂三君の「最も多感な3年間を共に過ごした仲間こそ人生の財産だ」という挨拶に共感し、この場に元気に集えたことを互いに祝し、乾杯しました。60歳を過ぎ、既に退職し、年金生活を謳歌する人もいれば、忙しく仕事に追われる生活をする人もいるのですが、男女を問わず、誰もが優しい気持ちに包まれ、心から再会のひとときを味わっているようでした。

恩師のご挨拶の後、クラスごとに記念撮影し、その後に出身中学ごとに撮影し、旧交を温める中、小学校、中学校の同窓会開催の話がそここで始まりました。宴も終盤、クラス幹事の紹介があり、最後に岩崎恒雄幹事長から「生きているうちに又、会いましょう」と挨拶があり、次回の同期会が3年後に決まりました。

祝 還暦

石川 和之(昭48卒)

平成27年1月10日、昭和48年3月卒業生全体の同窓会が、プラザハイアン茂原で開催されました。

「祝還暦」と銘打ったこの会に約150名の参加があり、40年以上前の高校時代の思い出、その後の人生のことなど、大いに語り合い、夢のような時間を過ごすことができました。

クラスごと及び参加者全体の記念写真、同窓生の独唱、ピアノ演奏、ギター演奏と懐かしの楽曲披露(「あの素晴らしい愛をもう一度」等)など内容も盛りだくさんで、会場は徐々に高校生に戻った青年達の熱気に包まれました。

次期幹事も決まり、再会を約束して、最後は全員で校歌を斉唱しました。校歌はプログラムにも掲載してありましたが、多くの方が、何も見ずに歌っているように思われました。やはり何年経っても、『吾等の誇り 我が長高』なのです。

終わりに、「我が母校」のますますの御発展を祈念して御報告とさせていただきます。(当日の写真は「塩サイト」で検索し、「塩ブログ」でご覧になれます。)



天 夢 塾 2014

◇第8回

日 時 平成26年7月17日(木) 14:00~15:15

対 象 全日制1年生 (328名)

内 容

講 師	組	講 義 内 容
Ⓐ 野口 正之	1A	来たバスに乗って未来を拓こう
Ⓑ 齋藤麻由美	1B	感動職人の仕事の流儀
Ⓒ 富塚 修	1C	私の選んだ道～後に続く者へのメッセージ
Ⓓ 君塚 明宏	1D	～明日の日本を創る～
Ⓔ 鈴木 裕行	1E	「宇宙」という選択肢
Ⓕ 池田 康代	1F	マナー&コミュニケーション能力を伸ばそう
Ⓖ 鶴澤 洵	1G	研究・技術者として生きて
Ⓗ 日下 忠文	1H	自殺予防にかかわって

講師略歴等

野口 正之 (昭48卒) 元千葉興業銀行 常勤監査役, 医療法人鉄蕉会 財務部部长

齋藤麻由美 (平19卒) 株式会社オリエンタルランド技術本部 ショー技術部ショーシステムグループ

富塚 修 (昭40卒) 元千葉県警察本部 生活安全部長

君塚 明宏 (平6卒) 総務省自治財政局地方債課 課長補佐

鈴木 裕行 (平20卒) 筑波大学大学院数理物質科学研究科 物理学専攻 博士後期課程

池田 康代 (昭53卒) 元日本航空客室乗務員 (株)ザ・アール インストラクター

鶴澤 洵 (昭33卒) 元理化学研究所 分子構造解析室室長

日下 忠文 (昭32卒) 日下医院 院長, 一般社団法人 日本いのちの電話連盟 理事長



◇第9回

日 時 平成26年11月14日(金) 14:00~15:15

対 象 全日制2年生 (325名)

内 容

講 師	組	講 義 内 容
Ⓐ 江崎 聡	2A	一社会人の「考え行動するスタイル」
Ⓑ 齊藤 実	2B	これからの人生を決める大学生活
Ⓒ 齊藤 友嘉	2C	労働審判法の立案・制定作業と法律の基本について
Ⓓ 根本 勝則	2D	「この国のかたち」づくり
Ⓔ 石井 国男	2E	一生懸命の人生 ～栄養士・管理栄養士業務を通して～
Ⓕ 鶴澤 潔	2F	炭素繊維複合材料を知っていますか? - CFRPの紹介とその未来 -
Ⓖ 安藤 俊裕	2G	マスメディアの変遷
Ⓗ 中嶋 玉恵	2H	「自衛隊や医療関係の道を考えている人へ」 ～現自衛隊員であり医学生であること～

講師略歴等

江崎 聡 (昭60卒) 三菱化学(株) 機能化学本部

齊藤 実 (昭48卒) 神奈川大学 経済学部 教授

齊藤 友嘉 (昭47卒) 齊藤法律事務所 弁護士

根本 勝則 (昭51卒) (社)日本経済団体連合会 常務理事 (産業部門)

石井 国男 (昭40卒) (学)食糧学院 東京栄養食糧専門学校 校長

鶴澤 潔 (昭53卒) 金沢工業大学大学院 教授 (革新複合材料研究開発センター所長)

安藤 俊裕 (昭44卒) 日本経済新聞社 特別編集委員

中嶋 玉恵 (平23卒) 防衛医科大学校 3年在学



◇第10回

日 時 平成27年1月18日(木) 19:30~20:30

対 象 定時制全学年(87名)

内 容

講 師	組	講 義 内 容
村上 義則	全学年	私の人生のターニングポイント



講師略歴等

村上 義則(昭45定卒)
元一宮中学校校長

我こそはと思われる同窓生は、講師として奮って手を挙げてください。事務局までご連絡を。

全国高等学校定時制通信制体育大会陸上の部に参加して

2年A組 小野寺 京香



8月8日(金)~8月10日(日)に駒沢オリンピック公園総合運動場で行われた、全国高等学校定時制・通信制体育大会陸上の部に参加しました。私は砲丸投げと走り幅跳びの2種

目に参加し、砲丸投げは5位、走り幅跳びは2位という結果を収めることが出来ました。

ここに至るまでには様々なことがありました。私は、1年の頃は特にやりたいこともなく毎日をダラダラと過ごしていました。中学時代に陸上部に所属していた私は友達に誘われて部活を見に行きました。中学の後輩が部活に一生懸命に取り組んでいるのを見て、またやりたいと思いました。ですが、長生高校定時制には陸上部がありません。しかし、私は大会があるなら参加してみたいと思いました。

先生に陸上大会に是非とも出てみたいと自分の気持ちを伝えました。先生方は話し合いをして、今回は特別に大会に出られるように配慮してくれました。定時制での部活動には色々な苦勞が伴っています。練習時間は授業を終えてからの30分だけで集中しないと練習効果が上がりません。また、体育館ではバスケットボール部・ソフトテニス部・バドミントン部が活動しており、練習場所の確保も大変でした。

大会に出るには実践的な練習が必要と、全日制陸上部顧問・小野先生の御配慮と御厚意で、全日制の選手と一緒に練習することが出来ました。全日制の皆さんは温かく声をかけてくださり、有り難かったです。一緒に基礎練習をし、走りのフォームを手本にして、体の軸が少しずつ良くなりました。

また、忘れてはいけないのがマネージャーの存在です。精神的に落ち込んでいたとき、成績が伸び悩んだとき、いつも励ましてくれました。そして、先生方のアドバイスを記録に残し、練習メニューを作ってくれました。

こうして二人三脚で臨んだ8月9日の大会はあいにくの雨でした。気温はそんなに高くなくて、比較的過ごしやす

い状態でした。走り幅跳び、砲丸投げの予選は同時進行で朝からバタバタしていました。両方の種目で決勝に行くことしか頭になく、自分でも今まで一番集中していたと思います。走り幅跳びは木更津東の民内先生から足の合わせ方のアドバイスをもらい、最初の跳躍で4m73cmと1位通過で予選を突破しました。砲丸投げも1投目で予選を通過でき、決勝に向けて体力を温存することが出来ました。

走り幅跳びに標準を合わせて練習してきた私にとって、この決勝はとても思い出に残る結果となりました。予選と違い、大勢の観客の視線を浴びて緊張し、なかなか足を合わせる事が出来ませんでした。跳躍ごとに先生のアドバイスをもらいながら自分で微調整をし、最後の跳躍で2位という結果を残すことが出来ました。1位とは僅か5cmという差でした。砲丸投げの決勝は私にとって場違いのような気がしました。空気がピリピリして、投げるフォームも本格的でした。参加選手一人ひとりの熱い思いが感じられました。



こうして、私の全国大会は終わりました。私はマネージャーを引き受けてくれた富田さんにはとても感謝しています。もし、一人だったら試合前に緊張してしまい競技に集中出来なかったと思います。私はこの大会で学んだことがあります。人間、集中すればするほど



プレッシャーがどこかにいったような感じになりました。最後になりますが、小野先生、民内先生、一緒に練習に参加させてくれた全日制の生徒の皆さんと、多くの方々の協力があればこそその結果であったと思います。改めて感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。このような貴重な体験をこれからの人生に活かしてゆきたいと思います。

同窓生インタビュー

帆は風をはらみ

鵜澤 潔氏に聞く



金沢工業大学 大学院工学科高信頼ものづくり専攻 教授 / 金沢工業大学 革新複合材料研究開発センター (ICC) 所長 / 東京大学 先端科学技術研究センター 特任教授

鵜澤さんは、エネルギーであるだけでなく、気さくで、明るい、魅力的なお人柄である。現在は、炭素繊維という軽くて強い新素材を樹脂で固めた成形物であるCFRP(Carbon Fiber Reinforced Plastics 炭素繊維強化プラスチック)の新たな用途や技術を見い出すために創設された、革新複合材料研究開発センター (ICC) 所長として、多忙な日々を送っておられる。理系の大学の先生としては異色の経歴をもつ鵜澤さんにお忙しいなか、長生高校時代の思い出や、これまでの歩みについてお話を伺った。

——鵜澤さんは長生村のご出身だそうです。

鵜澤 はい、もともと両親は東京に住んでいたのですが、震災で焼き出されてから、母方の親戚のいる長生村に来たようです。家は一宮川の河口近くにありましたが、そこから長高まで自転車で35分くらいかけて通っていました。でも、ちゃんと授業を受けなければいけないという気がなくて、しょっちゅう遅刻をしてました。おかげで、学年末には父兄同伴で叱られたものです。

——高校、大学時代はどう過ごされたのでしょうか。

鵜澤 長生中学ではサッカーを熱心にやりました。チームは全日本を目指すレベルでしたが、ついていくのがやっとで、激しいスポーツからの逃避のような感じで、長生高校では兄や姉の影響で山岳部に所属していました。大学に入って、自然に親しむ感覚の延長線というつもりでヨット部に入ったら、そこは全く体育会系の世界でした。でも、高校時代に少しクーリングダウンしていたせいなのか、大学では目一杯ヨットに打ち込みました。今考えると、一生の間には、エネルギーを溜めて次の飛躍に備えるという時期があるよう

に思えるのです。私にとって長高時代はそんなときだったのかもしれませんが。

長高では山岳部の高地先生から地理や社会科の授業を通して世界観を学びました。そして美術部も担当されていた稗田先生からは自由な生き方にとっても刺激を受けました。とくにそのころの美術教室は校舎から離れていたためか、外から卒業生が自由に入ってこられる雰囲気があり、土曜の午後などは大学生の先輩などとも話をしたりして、外の世界をかいま見ることができました。これがとてもためになりました。長高生としてはちょっと異色の経験かもしれませんね。

——ヨットに出会ってからは？

鵜澤 上智大学時代にロス五輪のヨット競技強化選手に選ばれるまでになったのです。卒業したらヨットを設計したいと思い、海外の有名なデザイナー数カ所の手紙を出しましたが、もっと勉強してからでなければというアドバイスを受けました。それで急遽大学院に行くことを決意したのですが、ヨットに打ち込んだため一年留年していて、それまでの成績は下から数えた方が早いくらい。でも、死ぬ気で勉強してみたら、これまで教わってきたことがみんな関連しているということがわかってきて、俄然勉強が面白くなってきます。結果的にはとてもよい成績で大学院に合格し、研究室の先生を驚かせることになりました。

——就職は本田技研。でもヨット製造の中小企業に転職されますね。

鵜澤 はい、社会人になってからもヨット競技生活は継続しようと、自由な雰囲気のある本田技研を選びました。自動車にも興味がありましたし、栃木の研究所での仕事でしたが、毎週末湘南の海で練習して、定期的に休暇を取って日本選手権や太平洋選手権の競技に参加するという生活を5年間続けました。しかし、それもさすがに疲れてきて、栃木からも出たかったし、ヨットにも関係する仕事ということで選んだの

が自分の乗っていたヨットを制作していた、ジーエイチクラフトという会社でした。そこでは、フォーミュラーカーの車体をFRP（Fiber Reinforced Plastics 繊維強化プラスチック）を使って製造する仕事もしていたので、私も流体力学や構造設計などの技術をいかすことができたのです。また、アメリカズカップに出場する大型競技用ヨットである日本艇の設計もやりました。

——プロジェクトで仕事をする重要性に気がついたのは？

鵜澤 ジーエイチクラフトは小さな会社でしたが、特殊な技術を持っていたので、JAXAの仕事などにも関与したりして、川上、川中、川下の会社とともに、プロジェクトを仕上げるという経験をしました。そのときにいろいろな仕事をプロジェクトを組んで仕上げるには、企業よりも大学にいた方がやりやすいと思い、また大学に戻ることにしたのです。そのときには、CFRPの技術をもっと世の中に広めたいと思うようになっていました。40歳を過ぎて大学に戻り、助手から再出発して、工学博士の学位を取って、アカデミックなポストを得るといえるのは異色の存在だと思います。でも、企業人として、ヨットマンとして過去に知り得た知識や人脈が今になってとても役に立っています。

——今のお仕事に就かれたのは？

鵜澤 CFRPはコンクリートや鉄に較べると全く新しい素材で、軽さと強さを兼ね備えた素晴らしい特性を持っており、将来性のある材料です。現在でも、ゴルフクラブやテニスラケットなどから航空機まで使われていますが、自動車、船舶、土木、宇宙、再生エネルギー関連などまだまだ挑戦できる用途があります。日本はCFRP素材である炭素繊維の生産は世界一であるにもかかわらず、成形品（コンポジット）に関しては後塵を拝しています。CFRPは新しい素材だけに、その製造技術、応用技術に関してはまだまだ研究の余地が大きいのです。市場の創出も必要です。一方海外では国家プロジェクトをいくつも立ち上げて研究開発を着々と進めています。この現状を打破するためには、川上から川下までの企業、研究機関が総力を挙げて取り組まなければなりません。また、新しい分野だけに大学や研究機関が活躍する余地が大いにあります。このことを国に強く訴えて、重点プロジェクトに選んでもらうことができました。そして22億円もかけた施設が金沢工業大学に完成し、多くの企業やその研究者も参加するプロジェクトがようやく動き出したわけです。夢がかなったといえますが、これから相応の成果を出す責任を強く感じています。

——今でも、ヨットには乗られますか。

鵜澤 いや、さすがに時間がとれなくて、ヨットに乗るのは無理なのですが、海とつながりのあるボランティア活動をやっています。近年、日本の造船産業が縮小する中、大学で造船学科などの海洋関係学科を専攻しようとする若者が減っています。それで仲間とともに、高校生を対象に、もっと海のことを知ってもらうための課外授業の一環として「ヨットのテクノロジー」と称した教育活動を毎年やっています。まずは、海に出るといえる経験を持ってもらうため、実際にヨットに乗ってもらったり、オリンピックのヨットのコーチを招いて講演をしてもらったり、星を頼りに航海する方法を教えたりと、いろいろあります。長生高校の生徒さんにも来てもらいたいですね。



村上氏

鵜澤氏

このインタビューの前に、天夢塾での鵜澤さんの講義を生徒とともに聞いた。生い立ち、学問、仕事そしてCFRPの普及にかける思いなど、ときにおやじギャグを交えながらも、熱心に語っておられた。その後、インタビューのために鵜澤さんと応接室にいと、一人の女子生徒がやってきた。今回の鵜澤さんの講義を聞いて今後の進路に大きなヒントが得られたと、瞳を輝かせて、少し興奮気味に報告してくれた。鵜澤さんの熱意、情熱が確かに伝わっていたのだなあと、改めて感動させられた出来事だった。

編集委員：村上一郎（S43卒）

鵜澤 潔（うざわ きよし）

1959年生まれ

1978年（S53年）長生高校卒業

1985年 上智大学理工学研究科機械工学専攻博士前期課程修了

1985年 本田技術研究所入社

1990年 ジーエイチクラフト入社 開発部長

2003年 東京大学助手

2007年 東京大学大学院工学研究科システム創成学専攻
任准教授

2012年～現職に至る



長生一高の思い出

岡 田 武 夫 (昭34-35)

1957年より58年までわたしは長生一高に在学しました。はるか58年前のことです。今振り返るに、この一年の思い出には甘酸っぱくそして苦い味がついています。挫折の一年でした。しかしあの一年が今のわたしを造りました。あらためて母校に感謝します。

当時の市原郡南総町鶴舞から茂原市にある長生第一高校に入学しました。同じ鶴舞中学の同級生湯川文朗くんが一緒でした。彼とは一緒に通学し、その一年間、本当にお世話になりました。遅ればせながら御礼申し上げます。

通学は遠距離で、長南まで自転車が出て、そこからバスに乗って茂原へ通う日々。大変で、途中イジメに出会い、家庭の事情もあり、とうとう不登校に陥り、一年後には牛久の市原一高に転校することとなりました。ですからわたしは長生一高の同窓生ですが卒業生ではないのです。

わたしのクラスはB組でした。席順は50音順で、わたしのすぐ前の席は石川信介くんの席でした。彼はよくくりと後ろに振り返ってわたしに話しかけてくれました。元気で明るい、よく勉強する人で、大いに助けられました。

級長は米倉正博という人でした。長身白皙の美男子の秀、という印象が残っています。

いま同窓会名簿を見ている。他の同級生について名前には覚えがあるのですが顔が浮かんできません。(すみません、同級の女子学生のほうは覚えています！)

先生については次第に思い出してきました。

クラスの担任の先生は横井経之先生でした。昭和32から36年に長生一高に在籍しておられたと名簿にあります。わたしたちは32年入学組ですので、わたしたちの入学と一緒に赴任して来られたこととなります。国語を教えてくださいました。赴任後まもなく結婚されました。そのことを生徒に少し顔を赤らめて報告された場面を思い出します。

田中幸作先生には英語を教えてくださいました。何かの拍子に、日露戦争の話になり東郷元帥が部下の兵士に檄を飛ばした場面を、熱をこめて話してくださったことを思い出します。

武田市兵衛といういかめしいお名前の先生がおられました。世界史を担当していました。わたしは後にカトリック信者になったわけですが、ローマの司教の尊称を「教皇」であるといわれたことを覚えています。どうしてそれ

を知っていたのだろうか、後で不思議に思いました。重厚な感じの先生でした。

小嶋健一先生、生物担当。いつも白衣を着て教室に現われ、独特の女性的な身振りで挨拶するかたでした。古いノートを見ながら飄々と授業をしていましたが、内容は高校生にとってはかなり高度なものでした。先生の授業は受験のために大いに役立ちました。

そして三木貞夫先生という英語の先生。先生は学校の新聞に一文を寄せ、聖書こそ最も大切な書であり、ここには人生の意味が述べられている、と言われました。そこでわたしも茂原の書店で聖書を購入し、そのことがやがてキリスト教徒になるきっかけとなったのです。後から三木先生が牧師になっておられることを知り驚きました。

1957年の夏休みには受験のための特別夏期講習会が開かれ、わたしには非常にためになりました。特に数学の授業は有益でした。英語のテキストはたしか、「Fifty Famous Stories」だったと憶えています。

1957年、まだ日本の映画が全盛時代、茂原市街の中心には映画館があり、そこで映画を見るのが楽しみでした。確か「山の音」「米」などの日本映画の名作を茂原で見たように思います。

長生一高を去ってからの長い年月、ほとんど関係者に接触することなく過ごしてきました。最近の仕事の関係で、学校の近くにあるカトリック教会に行くことがあります。一度一人で母校へ行って見ました。記憶にある校舎は今はないです。

さて、折角の機会ですので世界の平和のための提言二つを記します。

1) 現在の奴隷制の廃止。現在において奴隷制は廃止されており、国際法により禁止されています。しかし今なお多くの人々が事実上奴隷の状態に置かれていることをわたしたちは認識しなければなりません。違法な労働条件で働かされている労働者、恐怖と不安の中で非人道的な扱いを受けている移住者、売春を強いられ、ある結婚を強制されている人々、臓器売買のためにまた兵士にするために取引され売り渡されている子どもたち、テロ組織により拉致され戦闘員にされている人々や性的奴隷にされている少女や女性たち。このような恐ろしいことが起きているのは何故か。人を物のように扱うことが許されているという考え方によるのではないのでしょうか。

2) 核兵器廃絶。今年には第二次世界大戦終了、広島・長崎原爆投下の70周年にあたります。ぜひとも戦争という人類最大の悪の終息と核兵器廃絶に向けてわたしたちの声を響かせ、またそのための運動により一層の努力を傾けましょう。

1941年千葉県市原市鶴舞出生。1973年カトリック司祭となる。千葉県柏のカトリック教会、司教協議会事務局、カトリック浦和教区などで勤務、現在カトリック東京教区の司教、カトリック司教協議会会長、さいたま教区管理者、社会福祉法人ぶどうの木・点字図書館の理事長等を勤めている。



実践で培った 海外ビジネス流儀

千葉 順一 (昭42卒)

はじめに

団塊の世代として、日本の発展の歴史の生き証人としてとても Exciting な人生を送り、昨年、の定年を機に、いまは現役時代以上の充実した忙しい日々を楽しんでいます。一例を挙げますとクラシックバイクの再生、英語同好会での Debate, Presentation, Square Dance, Gardening, 郷土の歴史調査など。

今回は主に米国の Venture 企業との再生可能エネルギー分野でのビジネス交渉について実践してきたいくつかのヒントをベースにして、次世代を担う長高生の皆様へのアドバイスをお話します。

日本のビジネスマンの現状

1. 日本の国内ビジネス経験しかなく、日本の習慣をそのまま出すと世界で通用しない。相手に見透かされて対等なビジネスパートナーとしてみなされない。
2. 米国 Venture 企業の百戦錬磨の生き馬の目を抜くような相手から見ると、海外での修羅場を経験していない日本のビジネスマンはあたかも赤子の手を捻るように扱いやすい。
3. 外国人に対する不要なコンプレックスを抱いて、一人の人間として国籍を問わず誰とでも自然体で対応する所作に欠ける。
4. 海外で開催される Conference や専門学会での発表内容、伝え方が稚拙であること。

このような事例を日本の一流企業の幹部、有名大学の教授にもたくさん見てきました。

この状況を劇的に改善してくれるような処方箋はなく、個人レベルで日常的に試行錯誤しながら自分の流儀を獲得して実践する必要があります。

私が誇りに思うことは、海外のビジネスパートナーから **“お前のような日本人はいままで出会ったことがない。”** というあきれたような賛辞? を頂くときです。

以下に私が考えて、実践してきたヒントを纏めてみました。

私流英語の学び方

1. 英語脳と日本語脳の認識 (意識的な二重人格)
英語脳に切り替わると人格が一変し、もう一人の自分 (Aggressive/ 積極的, Positive/ プラス思考 & Logical/ 論理的) を楽しむ。
2. 日常生活に英語を取り入れる (英語の勉強はやめる)
日記をつける。海外の友人と E-mail 交換。You-tube の講演、音楽映画。Paperback 読書。Skype-chat。英語同好会の活用 (Debate, Presentation) など。
3. Global Business Skill (ビジネススキルを磨く)
 - A. English Communication (英語での自由な意思疎通) == Negotiation, Persuasion, Mutual Agreement (交渉、説得、相互合意)
 - B. Computer Literacy (IT 技術を使いこなす能力)

== E-mail, Presentation, Information gathering (メール、効果的な資料作成、説明、情報収集)

- C. Intelligence (知的好奇心) == Wider topics = Hobby, Politics, Society, Culture, Food (広範囲の話題、趣味、政治、社会、文化、食など)

ビジネスの現場での実践

1. ビジネスの現場は対一の真剣勝負。互いに相手を値踏みする。相手から格下と見られると相手のペースで物事が運んで交渉にならない。
2. ビジネスそのものの現場ばかりでなく、Lunch, Dinner などの機会に幅広い分野の意見交換をしてその対応で相手の人物評価を下す。したがってビジネス以外のあらゆる分野の話題に対して常に自分の見解を持ち、自分の言葉で意見を述べることで自身の評価を高めることにつながり、相手の信頼、尊敬を得られる。いったんこのような信頼関係を構築できれば、それ以降のビジネスは相互の信頼関係をベースにお互いが譲歩して Win-Win の関係を維持できる。
3. 波力発電の米国 Venture 企業の CEO は日本の江戸時代の歴史に造詣が深く、Dinner の席では決まって最近読んだ関連書籍の内容について意見を交換するのが定例行事となっていました。また法廷を舞台にした小説なども Off-Business での話題の定番です。私の好きな作家 (Michael Connelly, Danielle Steel...) を覚えていて、後で国際宅急便で読み終わった Paperback を送ってくれた CTO もいました。
4. 数十年にわたる海外事業経験で、50 カ国の人々と交流し、米国では 50 州の内 40 州に足跡を残して公私共に楽しく、貴重な経験を通して今の自分があります。スカンジナビア諸国の鉄道での旅、カナダ Whistler での水上飛行機体験、Arizona 砂漠を熱気球で横断、Spain Toledo の古城のたたずまい、フラメンコレストランでの出会い、各国に住む友人との E-mail での近況報告にもわくわくします。
5. 仕事最優先の日本の習慣から解放されて、自分の可能性を秘めた人生のなかで仕事を多くの選択肢の中の **“One of them”** として楽しむ姿勢を常に最優先してきました。

おわりに

最終的には個人対個人の間力があるものを言います。英語による Communication Skill を磨き、IT 技術を使いこなす能力を身に付けることで仕事の幅とキャリアアップチャンスが大幅に改善する。その結果として前向きな思考が可能となり人生の充実度が変わってきます。

次世代を担う長高生の皆様もあらゆる機会を捉えて、自身の人間力を Power-up されることをお勧めします。必ず皆様のこれからの長い人生に大いに役立つこと間違いありません。

▼マレーシア製造会社訪問



米国 MIT 海洋工学部修士課程卒業。三井造船にて主に海外新規事業開発に従事 (再生可能エネルギー分野: バイオエネルギー、集光型太陽光発電、波力発電、洋上風力発電、リチウムイオンバッテリーなど)。文部省英語検定 1 級。第一種情報処理技術者。水中溶接に関する米国特許取得。



イタリアより

藍野 真知子 (昭47卒)

今私は、これをイタリア、フィレンツェの日本語補習校で書いています。日本語補習校というのは、在外日本人子弟の教育機関の一つで、普段はその国の学校に通う子供たちに、土曜日の午後、国語の授業のみ教えるところです。在校生は百数十人。そのほとんどがイタリア人とのハーフなのです。私がイタリアに留学してきたウン十年前には考えられない大人数です。

あの頃は、アエロフロートのチェックインカウンターで、15キロの重量オーバーを、見送りの「この子はお国のためにイタリアに勉強に行くのですから」の一言でOKしてもらえた時代でした。

あの頃は、伊和辞典しかなく、和伊辞典というものはありませんでした。だから初めての異国の電車の中で、片言のイタリア語と辞書とで相客たちとおしゃべりして、これから音楽院の入学試験だと言うと、辞書には載っているけれど、意味の通じないことを言われ、パニックだったのも、忘れられない思い出です。要するに、「試験頑張ってね」に相当する祝福の慣用句だったのです。和英辞典のない会話を想像してみてください。



時がたち、こちらで結婚して、子供たちが学校に通うようになると、否応もなく教育問題を目の前に突きつけられますよね。イタリアには入学式も卒業式も、始業式、終業式、朝会等、何もないというのは驚きでした。起立、礼もない。学校におやつを持って行かなくてはならない。小学校では体育や音楽もないに等しい。我が家では、ハーフの我が子に少しでも日本語をと、海外子女教育財団の通信教育で小学校課程を並行

して教えていたため、その教材の「Aさんの街では、美しい町づくりのため花いっぱい運動をしています。あなたの街では何をしていますか」という設問には絶句しました。

うっ……サッカー以外共同意識のないイタリアではあり得ない設問だ……さんざん調べた末（インターネットのない時代です）、幸い、WWFの友人のついで、年に一度の海岸大掃除のボランティアに参加させていただき、事なきを得ることができました。

だから、我が子に日本並みの教育をと、小学校の音楽の授業のボランティアもしました。それが今にも至って、毎年二百人以上の子供たちに音楽を教えているのです。近年、ようやくイタリアでも小学校の音楽教育の必要性が目されるようになってきましたが、まだまだ、クリスマスにCDと一緒に歌うだけというところが多く、これがベルカント、オペラの国かと少々情け無くなります。私はシスターたちの経営するお高い私立の小学校で、専門教師による体育、英会話、演劇、音楽などが授業に組み込まれているところで教えているので、ちょっと特別な環境にいます。

イタリアには、今、日本人がたくさんいます。音楽、美術を学びにきた人たち。そして皮工芸やファッション関係の人たち。多分、どこの国にも今はたくさんの日本人が住んでいるのでしょうね。そして、その土地で結婚して、たくさんのハーフが生まれている……。

インター・カルチャーと呼ばれる交換留学制度の基本理念は、自分の知っている国、自分の友達がいる国と戦争したがる人間はいないから、少しでも異国との交流を体験してもらおうというのだと聞きました。ということは、この沢山のハーフたちは、もっともっと重要な役割を担っているのだと思います。

東洋人イコール中国人の時代から、ようやく「日本人？」と聞かれるようになったのも近年のことです。

私は今年から、この日本語補習校の校長職を拝受いたしました。この時代、自己のオリジナリティーを見失わず、世界の架け橋となって行く子供たち、バンザイ。



国立音楽大学卒業。ヤマハ音楽教室幼児科講師をへてイタリア留学。国立ポローニャ音楽院声楽科首席卒業。演奏活動、後進の指導をしながら国立ラ・スベツィア音楽院元予科講師。サン・ドメニコ学園音楽講師。トスカーナ日本語補習校校長。



夢と情熱 マッサンとリタの物語

久光哲司(昭52卒)

先ずは、このような機会を与えていただきましたこと、同窓会長及び会報編集委員始め関係各位に感謝申し上げます。



さて、NHKで放送されております朝ドラ「マッサン」は、私が勤務致しますニッカウキスキーの創業者竹鶴政孝・リタ夫妻をモデルとした物語です。竹鶴政孝は日本人として初めて本場スコットランドでウイスキーづくりを学び、日本で初めて本格ウイスキーづくりに携わり、そして自ら会社を興して自分の求める理想のウイスキーづくりに生涯を捧げました。ドラマはやや脚色もあり、史実と異なる部分も有りますので、マッサンとリタの物語、振り返ってみたいと思います。

業者竹鶴政孝・リタ夫妻をモデルとした物語です。竹鶴政孝は日本人として初めて本場スコットランドでウイスキーづくりを学び、日本で初めて本格ウイスキーづくりに携わり、そして自ら会社を興して自分の求める理想のウイスキーづくりに生涯を捧げました。ドラマはやや脚色もあり、史実と異なる部分も有りますので、マッサンとリタの物語、振り返ってみたいと思います。

政孝は1894年、広島県竹原市の竹鶴酒造に生まれ、大阪高等工業学校(現大阪大学)を卒業後、1916年、大阪の酒造メーカー撰津酒造に入社します。当時、日本でつくられるウイスキーは、スコッチのような製造方法ではなく、イミテーションウイスキーで、政孝は本物のウイスキーづくりを学ぶために、1918年に単身スコットランドに渡りました。単身留学の政孝には、だれも頼る人は無く、スコットランドの蒸溜所地図を頼りに一人で実習先を探し、蒸溜所に飛び込み、体験実習を行いました。ウイスキーづくりを学んで帰ることは無理なのではないかと、心が折れそうな政孝を支えてくれたのが、ジェシー・ロベルタ・カウン、愛称リタと呼ばれるスコットランド女性でした。1920年に政孝は生涯の伴侶リタを伴い、希望に燃えて帰国します。しかし、時代は第1次大戦後の不況の頃、政孝を派遣した酒造会社は、結局ウイスキーづくりを断念せざるを得ませんでした。1922年に会社を退社し、政孝は浪人生活を送ります。当時は「ものになるかどうか分からないウイスキーに莫大な資金を投じる資本家のはたしているのかどうか」と不安に感じていたようです。そんな時に政孝のもとを訪れたのが寿屋洋酒店の鳥井信治郎社長でした。当時、鳥井氏もイミテーシ

ンウイスキーから脱却したいと考え、商社を通じてイギリスに技師派遣を要請したところ、「日本にはこちらで技術を学んでいった竹鶴という男がいる」との返事があり、三顧の礼をもって政孝を迎え入れたそうです。1923年に寿屋に入社し、1924年に山崎に蒸溜所が完成し、工場長に就任します。政孝はウイスキーづくりの理想郷である北海道での工場建設を進言したのですが、鳥井社長の考えで山崎に決定されました。ここに日本で最初のモルトウイスキー蒸溜所が誕生したのです。その後政孝は、契約期間満了後、自らが理想とするウイスキーをつくるために、寿屋を退社しました。“ウイスキーづくりにトリックはない”という信念のもと、“ウイスキーづくりに欠かせないのは冷涼な北の気候と、ウイスキーを育む自然に対する敬虔な気持ちである”と考えていた政孝は、以前から目を付けていた北海道余市に蒸溜所を建設しました。良質な水が豊富にあり、原料大麦が集めやすく、石炭や薪などの燃料が入手しやすく、輸送のための鉄道の便も良く、付近に河川があり、ウイスキー製造に不可欠なピートが取れ、樽材が豊富など、政孝にとっての「ウイスキーづくりの理想郷」が余市であったのです。加えてこの余市を選んだ最大のポイントは「適度に湿潤なうえに冷涼で澄んだ空気とその気候風土」でありました。その後も理想のウイスキーづくりに夢と情熱を持ち続けた政孝は、スコッチに負けないウイスキーをつくるために、次にグレーンウイスキー蒸溜所をつくり、更にもう一つのモルト原酒工場として宮城峡蒸溜所をつくりました。スコッチの製法を学び、その伝統的な製法を踏襲しながら、自身の理想のウイスキーづくりの為に、夢と情熱を持ち続け、たゆまぬ挑戦をしてきました。そして常にそれを支え続けてきたのがリタでした。浪人時代にはピアノや英語の家庭教師をして家計を助け、大阪時代には夫を励まし、そして独立後には様々な困難を共に乗り越えてきました。リタの内助の功が無ければ、ニッカウキスキー、そして日本のウイスキーそのものが現在とは違ったものになっていたでしょう。その意味では、リタは“日本のウイスキーの母”ともいえるかもしれません。最近では、日本のウイスキーが海外の権威あるコンクールで最高賞を受賞するなど、品質が世界に高く評価されるようになってきました。二人で協力して、信念を貫き、ウイスキーづくりに夢と情熱を傾け続けた結果が、今日の成果を生んでいるのだと思います。

政孝の「本当においしい本物のウイスキーを作る」という夢が、ようやく現実のものになってきました。良いウイスキー作りにトリックはない。私たちは二人の夢と情熱を忘れず、協働してさらにおいしいウイスキーづくりにチャレンジしてまいりたいと思います。

昭和58年ニッカウキスキー株式会社に入社。平成18年チーフプレジデントに就任。平成24年より栃木工場長。

詩

まさかね

齊藤 光利 (昭45卒)

ボールは動かない
みずからは
決して動こうとしない
君がはたらきかけなければ
永久に止まったままだ
君はじつとボールを見つめる
本当は何がちがうものを
ボールの向こうに
見ているのかもしれない

アドレス
テイクバック
トップから
ダウンスウィング
インパクトの一瞬
時が止まった
かわって動きはじめたのは
今までじつとしていたボールだ

いや
ひよつとして
それは錯覚かもしれない
ボールは相かわらず止まったま
まで
ぼくたちとそして地球が
ボールから遠ざかってゆく
まさかね

短歌

「またいくね」

麻生 一枝 (昭31卒)

ひねもすに重機の音ひびきくる
大型スーパリーの開店近し
たそがれに椋鳥の群現れて
花火のごとく開き又寄る
暮れなずみなほエンジンの音増して
翁は独り茅を刈りゆく
やうやくに診察を終へ雨の中
老いし夫婦のバス停に立つ
里山の老犬の待ついろりの宿
老人ふたり雑談つづく
「よいいドン」紅白帽のトラックに
体うかせて孫のみを追ふ
真夏日に下校の児らの信号待ち
腰を下ろして水を飲みつつ
はなれ住む孫の電話の「またいく
ね」
明るき声は吾が宝なり
園児らの竹に掲げる願ひごと
嬉嬉とせる声路地までひびく
色とりどりのポピーの花が咲く
ごとし
雨後の園庭にあそぶ幼ら

俳句

去年今年

多賀 ひろ子 (昭36卒)

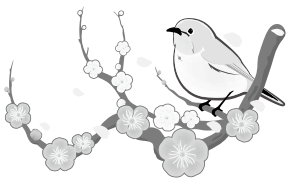
逆さ富士起してみたき去年今年
さきがけの梅の花芽を見て機嫌
いさぎよく落ちし椿の又一つ
来し方を語り過ぎたる余寒かな
学生の白の眩しき更衣
万緑に埋もれ世間に疎くなり
十葉の花に夕闇迫り来し
うたたねの昼の静寂も草茂る
名月の鄙の一村渡りけり
木の実降るひと日は母の黙深し

花と酒

川島 鶴壽 (昭32卒)

牧水と差しで夜長の一人酒
夜桜のマジック妻も若返る
酔えばすぐ四番エースの過去を言う
山姥も纏い浮かれる花衣
左利き量より質へ寄る齢に
坂道でギクシヤク愚痴る老いの膝
枯れて無い証ダンスで胸躍り
横恋慕めおと茶碗にヒビを入れ
大鵬を越えた鵬おおとりレジェンドに
CMで人気力士は綱を張り

川柳



平成26年度入試 大学等合格者数一覽

平成26年(2014年)4月6日現在

国立大学

大学名	学部	現役	浪人	計
北海道大	工	1	0	1
	菌	0	1	1
北海道教育大・旭川校	教育	1	0	1
室蘭工業大	工	1	0	1
	理	1	1	2
東北大	工	0	1	1
	農	1	0	1
秋田大	国際資源	1	0	1
	医	0	1	1
福島大	人文社会	0	1	1
	人文	6	0	6
茨城大	教育	1	2	3
	理	0	1	1
	工	4	2	6
	社会・国際	2	1	3
筑波大	情報	0	1	1
	理工	1	0	1
宇都宮大	教育	1	0	1
	工	2	1	3
埼玉大	教育	1	0	1
	工	0	1	1
	法経	2	1	3
千葉大	教育	14	1	15
	理	2	3	5
	工	5	1	6
東京海洋大	海洋科	0	1	1
お茶の水女子大	理	1	0	1
電気通信大	情報理工	3	2	5
東京外国語大	国際社会	1	0	1
東京学芸大	教育	2	0	2
東京農工大	工	0	2	2
横浜国立大	経営	1	0	1
	理	1	0	1
富山大	薬	1	0	1
金沢大	人間社会	1	0	1
山梨大	教育人間科学	1	0	1
	医	0	1	1
信州大	人文	2	0	2
	繊維	0	1	1
静岡大	農	1	0	1
名古屋大	理	1	0	1
京都大	工	1	0	1
	農	0	1	1
京都工芸繊維大	工芸科	0	1	1
鳥取大	工	1	0	1
山口大	工	1	1	2
徳島大	医	1	0	1
愛媛大	農	1	0	1
鹿児島大	教育	1	0	1
合 計		69	30	99

公立大学

大学名	学部	現役	浪人	計
釧路公立大	経済	1	0	1
秋田県立大	システム科学	1	0	1
群馬県立県民健康科学大	看護	1	0	1
高崎経済大	経済	1	1	2
千葉県立保健医療大	健康科学	6	0	6
首都大学東京	都市教養	2	0	2
	システムデザイン	1	0	1
横浜市立大	医	1	0	1
都留文科大	文	1	0	1
合 計		15	1	16

大学校

学校名	現役	浪人	計
防衛医科大学校	1	0	1
防衛大学校	2	2	4
気象大	0	1	1
国立看護大	2	0	2
合 計	5	3	8

私立大学

大学名	現役	浪人	計
日本大	84	33	117
千葉工業大	※16	※22	※80
	※複数合格者数		
法政大	56	13	69
明治大	35	18	53
東洋大	40	14	54
東邦大	29	9	38
立教大	21	13	34
東京理科大	15	18	33
芝浦工業大	20	12	32
中央大	18	13	31
東京電機大	18	5	23
明治学院大	19	4	23
東京家政大	22	0	22
専修大	16	4	20
淑徳大	18	1	19
順天堂大	18	1	19
駒澤大	16	2	18
早稲田大	11	6	17
共立女子大	14	2	16
東海大	7	8	15
成蹊大	12	2	14
國學院大	10	3	13
立命館大	6	7	13
青山学院大	9	3	12
立正大	11	2	13
文教大	9	2	11
獨協大	4	6	10
学習院大	6	4	10
上智大	8	2	10
東京農業大	9	1	10
東京女子大	5	4	9
了徳寺大	8	0	8
日本女子大	6	2	8
武蔵野大	6	1	7
明海大	6	0	6
城西国際大	5	1	6
慶應義塾大	2	4	6
昭和女子大	6	0	6
東京都市大	4	2	6
東京医療保健大	5	1	6
和洋女子大	5	0	5
北里大	3	2	5
東京工科大	5	0	5
明星大	4	1	5
神田外語大	4	0	4
帝京平成大	3	1	4
実践女子大	4	0	4
創価大	0	4	4
大東文化大	3	1	4
玉川大	4	0	4
帝京大	3	1	4

大学名	現役	浪人	計
武蔵大	3	1	4
学習院女子大	3	1	4
東京福祉大	3	0	3
大妻女子大	3	0	3
国士館大	2	1	3
昭和薬科大	0	3	3
成城大	2	1	3
拓殖大	2	1	3
フェリス学院大	2	1	3
獨協医科大	1	1	2
聖徳大	2	0	2
亀田医療大	2	0	2
秀明大	2	0	2
杏林大	1	1	2
工学院大	0	2	2
清泉女子大	2	0	2
日本赤十字看護大	2	0	2
星薬科大	2	0	2
神奈川大	2	0	2
関東学院大	2	0	2
撰南大学	0	2	2
東北芸術工科大	1	0	1
つくば国際大	1	0	1
国際医療福祉大	1	0	1
跡見学園女子大	1	0	1
目白大	1	0	1
埼玉学園大	0	1	1
敬愛大	1	0	1
千葉科学大	1	0	1
亜細亜大	1	0	1
桜美林大	1	0	1
恵泉学園大	1	0	1
駒沢女子大	1	0	1
女子栄養大	1	0	1
大正大	1	0	1
東京医科大	1	0	1
東京経済大	0	1	1
東京女子医科大	1	0	1
東京女子体育大	1	0	1
東京薬科大	0	1	1
日本獣医生命科学大	0	1	1
日本女子体育大	1	0	1
日本体育大	1	0	1
東京聖栄大	1	0	1
金沢工業大	1	0	1
京都女子大	1	0	1
京都造形芸術大	1	0	1
龍谷大	1	0	1
大隈工業大	0	1	1
関西大	0	1	1
合 計	729	276	1047

平成26年度合格者数

() 内は理数科内数

大 学	現 役 (理数科)	浪 人	計
国立大学	69 (8)	30	99
公立大学	15 (0)	1	16
大学校	5 (0)	3	8
小 計	89 (8)	34	123
私立大学	729 (70)	276	※1047
国公立短大	0 (0)	0	0
私立短大	2 (2)	0	2
総 計	820 (80)	310	※1172

平成26年度同窓会総会は8月2日に、大和屋旅館にて、63名の出席のもとに開催されました。

総会は同窓会長の安藤轟勇様の挨拶から始まりました。

昨年11月に長生支部が発足し、地域同窓会が7つ、職域同窓会についても呼んでいただいているだけでも5つ、その他にも組織があり、また期別とかいろいろな集まりがあり、同窓会の組織はたいへん拡大してきた。同窓会の意義を理解していただき、同窓生同士の交流と親睦、情報交換など、同窓生としての絆を一層深くしていただいております。一方、母校長生高校に対して物心両面にわたる格別なご支援をいただいていることを有難く思っている。皆様方に変なご無理なお願いをしております寄付ですが、母校生徒の部活動・進路指導の費用の一部、文化活動・研究活動に対する支援として基金が有効に活用され、募金も順調に展開されていることを厚く御礼申し上げます。」との挨拶がありました。

続いて、大山光晴校長から、「日頃より長生高校に物心両面で手厚くご支援いただき心より感謝申し上げます。先日、同窓会の支援によって社会科研究室に冷房を設備していただくことになり有難く思う。今年は全日制では陸上部がインターハイに出場、定時制ではソフト

テニスと陸上で全国大会に出場している。生徒達は、全日制も定時制も日々勉強に部活動に励んでいる。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。」との挨拶がありました。

続いて来賓の陸沢町長の市原武氏、県会議員の横堀喜一郎氏よりご挨拶をいただき、石井準一参議院議員からの祝電披露があり、安藤会長の議長で議案の審議に入りました。平成25年度会務報告、会計報告、監査報告、同窓会報収支報告及び監査報告、平成26年度会務計画・予算、同窓会会則一部変更、役員改選等を審議し、茂原市長田中豊彦氏のご挨拶をはさみ、社会科研究室の冷房化、同窓会ホームページの立ち上げ等を審議し、全会一致で会員の皆様の同意を得て原案が承認されました。

議案審議後、第26代校長大山光晴氏による「これからの科学教育」と題しての講演会が行われました。実験も含めた講演で、終始和やかな雰囲気の中で、校長先生の若かりし時代に生徒と取り組んだ「リアモーターカー」の紹介など、氏の理科教育への熱意を感じさせる講演会でした。

その後、県会議員の阿井伸也氏よりご挨拶をいただき、懇親会に移りました。大いに語り合い、親睦を深め、来年の再会を期して散会いたしました。

同窓会総会報告

第40回千葉県民写真展



特選 「PHOTO GIRLS」 2年 加藤 千奈



入選 「我的手に」

1年 田中 麻結子



審査委員長賞 「おいしそうでしょ？」
2年 露崎 れな



入選 「覆われる街」 1年 田中 翔太郎

平成25年度 会務報告

平成25年	平成25年度入学式
4.9	入学者355名(全日制普通科287名・理数科40名・定時制28名) 安藤会長祝辞
4.12	長生高校職員歓送迎会 安藤会長出席 於プラザハイアン茂原
4.24	ホームページ検討会 7名参加 於応接室
4.30	平成25年度同窓会役員会 常任幹事会への提出議案の策定ほか 役員・事務局14名参加 於応接室
5.24	同窓会常任幹事会 同窓会総会への提出議案審議 31名出席 於大和屋
6.7	千葉市役所梨葉会 安藤会長、堤教頭出席 於センチニータータワー
6.14	東京長高会 安藤会長、石田副会長、見田校長出席 講演 矢部順子氏(平9) フリーアナウンサー・ビジネスコーチ 於品川プリンスホテル
6.28	創立100周年記念教育振興基金運営委員会 安藤会長、木島・山田・石田副会長 白井監査、事務局篠崎・石野出席 於応接室
7.12	京葉梨葉会 安藤会長、木島副会長、見田校長出席 講演 吉野毅氏(昭37)「風土」彫刻家、二科会会員 於スカイウィンドウズ東天紅
7.18	『天夢塾』実施 講師8名 対象生徒1学年生徒 平成25年度同窓会総会 講演 鎗田謙二氏(昭34)
8.3	鎗田整形外科医院院長「地域医療と最近の医学」参加者60名 於大和屋
8.24	千葉銀梨葉会総会 見田校長出席 於大和屋
9.4	千葉県庁梨葉会 安藤会長、石田副会長、堤教頭出席 於プラザ葉の花
10.26	茂原梨葉会 安藤会長、見田校長、堤教頭、篠崎教諭出席 於大和屋
10.27	大網白里支部総会 安藤会長、吉田教頭、石野教諭出席 於エンジ荘
11.9	市原支部総会 杉崎参与、見田校長出席 講演 華表実氏(昭43)「相続税の対応」税理士 於千葉市勤労者市民プラザ
11.15	『天夢塾』実施 講師8名 対象生徒2学年生徒
11.17	夷隅梨葉会総会 安藤会長、見田校長、石野教諭出席 講演 宍倉正展氏(昭63) 於勝浦ホテル三日月
11.30	長生支部設立総会 安藤会長、見田校長、篠崎教諭出席 於プラザハイアン
12.6	職員忘年会 安藤会長出席 於一宮シーサイドオーツカ
平成26年	『天夢塾』実施 講師 中村勲氏(昭38定時制) 対象定時制生徒全員
1.9	
1.26	千葉県警察梨葉会 安藤会長、見田校長出席 於ヴェルシオーネ若潮
1.29	同窓会常任幹事会 社会科研究室クーラ、ホームページ他について 37名参加 於大和屋
3.7	平成25年度卒業証書授与式 全日制普通科286名・理数科40名・定時制普通科21名 安藤会長祝辞

平成25年度 同窓会会計報告

平成24年度一般会計 収入総額 4,800,539円
支出総額 2,438,828円
差引残額 2,361,711円(次期繰入)

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
入会金	1,041,000	1,026,000	△15,000	全日制 327×3,000 定時制 21×3,000 転学、退学等による返金18,000円
繰越金	1,666,305	1,666,305	0	平成24年度末一般会計より
利息	100	168	68	一般会計預金利息
雑収入	0	2,107,980	2,107,980	寄付金等
合計	2,707,405	4,800,539	2,093,134	

(2) 支出の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
会議費	30,000	3,090	26,910	総会、常任委員会、役員会等
儀礼費	600,000	468,750	131,250	祝儀、香典、饗別、謝礼等
事務費	350,000	303,560	46,440	卒業証書ホルダー、切手、送料等
旅費	85,000	66,000	19,000	各種同窓会出席等
助成金	1,300,000	1,300,000	0	教育振興基金へ
繰出金	0	0	0	
事業費	300,000	297,428	2,572	天夢塾
予備費	42,405	0	42,405	
合計	2,707,405	2,438,828	268,577	

平成25年度基本金会計

収入総額 11,729,011円
支出総額 1,751,925円
差引残額 9,977,086円

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰越金	11,728,582	11,728,582	0	平成25年度当初基本金
利息	0	429	429	普通預金
繰入金	0	0	0	
合計	11,728,582	11,729,011	429	

(2) 支出の部

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰出金	2,000,000	1,751,925	248,075	空調設備工事(体育教官室、定時制職員室)

会報委員会会計報告

(1) 収入の部 (2) 支出の部 (単位:円)

項目	金額	項目	予算額	説明
繰越金	3,773,855	発行費	2,373,118	会報20号
賛助金	2,337,000	ドメイン取得	21,435	
利息	663	合計	2,394,553	
合計	6,111,518	差引残高	3,716,965	(次期繰入)

平成25年度 創立100周年記念教育振興基金決算書

1 教育振興基金 普通預金 4,300,000円
期中とりくずし 0円
平成26年3月31日現在 4,300,000円

2 教育振興基金運営決算 収入総額 1,949,965円
支出総額 1,060,970円
差引残額 888,995円

(1) 収入の部 (単位:円)

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
繰入金	1,300,000	1,300,000	0	同窓会から1,300,000円
雑収入	0	28	28	
繰越金	649,937	649,937	0	平成24年度からの繰越金
合計	1,949,937	1,949,965	28	

(2) 支出の部

項目	予算額	決算額	増減額	摘要
部活動助成		488,480		関東・全国大会出場激励費、垂れ幕 硬式テニス部、弓道部 施設使用料補助
生徒・教員研究活動	1,949,937	385,600	888,967	海外派遣補助、テレビ 会議システムリース料
進学・就職指導助成		186,890		教育セミナー受講料
合計	1,949,937	1,060,970	888,967	

訃報

謹んで追悼の意を表し、心からご冥福をお祈り申し上げます。

20号発行後にご家族、知人よりご連絡いただきました方々の卒年・お名前・ご逝去年月日をお知らせいたします。

Table with 4 columns: 卒年氏名, 逝去年月日. Lists names and dates of deceased members.

訃報は事務局で確認し得たものを掲載いたします。事務局まで直接ご連絡くださいますようお願いいたします。

平成26年度 千葉県立長生高等学校同窓会役員名簿

Table with 3 columns: 役名, 氏名, 卒年. Lists officers and members of the alumni association.

事務局長 篠崎 文彦 (昭47)
事務局次長 石野 孝和 (昭50)

戦場に残されたもの ——里帰りを待ちわびる印鑑——

太平洋戦争末期の昭和19年には、日本の絶対国防圏を巡って、マリアナ諸島で大戦闘が繰りひろげられました。特に7月7日のサイパン島陥落(玉砕)は、東条内閣総辞職のきっかけともなる激しい戦いでした。この戦いにはアメリカ兵のシェルトンさんも従軍していました。彼は戦場から日本兵が大切にしていた品物を持ち帰りました。ともに戦った相手の品が海の藻屑となってしまうことが、しのびなかったのかも知れません。70年の時を隔てて、シェルトンさんのお孫さん御夫妻は、この品を、ご本人もしくは関係者の方へお返しすることを思い立ちました。手がかりは写真を掲載した「松崎」の印鑑と、「□□記念千葉縣立長□□…」との文字入れがある判子ケースです。お心当たりの方がいらっしゃいましたら同窓会事務局に情報をお寄せ下さい。どんな些細な情報でも結構です。



ホームページを開設しました

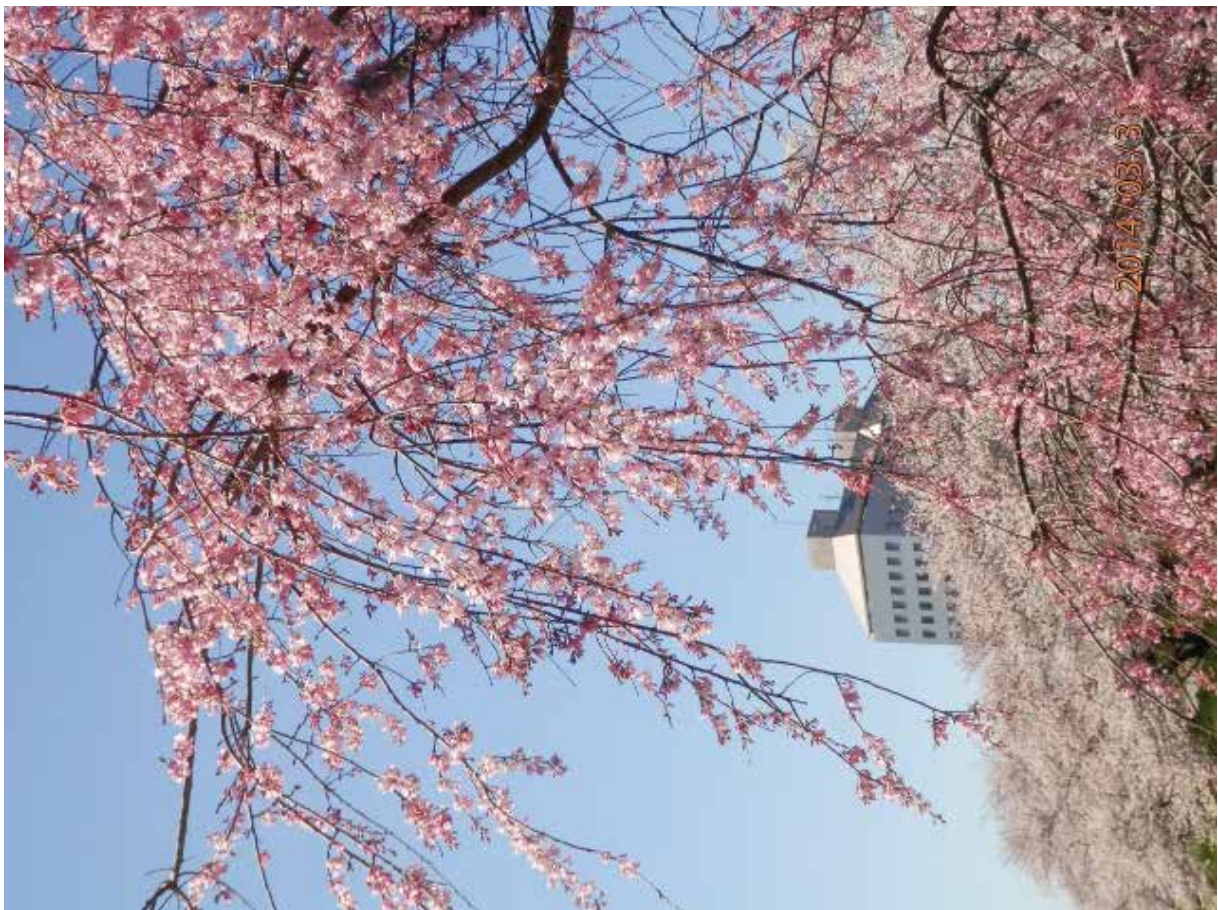
トップメニューには「トップページ」「会長挨拶」「役員」「会則」「お問合せ」、サイドメニューには「同窓会からのお知らせ」「同期会から届け出・お知らせ」「同窓会報」「天夢塾」「活躍する同窓生」「校歌」「同窓生寄贈品」「各種変更届」「ご意見・ご要望」「お問合せ」「賛助・寄付のお願い」「各支部紹介」「母校の歩み」「思い出」「リンク集」と、豊富なメニューで皆様の閲覧とご活用をお待ちしています。

長生高校同窓会 検索



東京スカイツリー

武田 裕 (昭31卒) 全日写連関東本会員



桜花



編集：長生高校同窓会報編集委員会 発行者：安藤轟勇 〒297-0029 千葉県茂原市高師286 TEL：0475-22-3378

表紙：「月の声」 裏表紙：「窓」 / 〔共に茂原市立美術館蔵〕 林 功(昭39卒)

